

陸上競技を中心に、障がい者と共に歩むクラブ

～NPO 法人桃太郎夢クラブ（岡山県岡山市）の事例～

障がい者と共に歩むクラブとして今回ご紹介する「NPO 法人桃太郎夢クラブ」は、陸上競技で高い専門性を持つクラブとして設立されました。設立の準備期間から、種目の一つに「車いす陸上競技」が組み込まれていました。

クラブの設立には、車いす陸上競技のトップアスリートである松永仁志選手の存在が大きく関わっていました。松永さんは、北京とロンドンのパラリンピックで、車いす陸上競技の日本代表に選ばれています。

松永さんは、障がいのある子ども達から大人にまで、スポーツの楽しさ、素晴らしさを伝えたいという思いから、桃太郎夢クラブの立ち上げに

理事として関わり、多大な協力を惜しみませんでした。車いす陸上競技をクラブの種目として実現させ、「桃夢車いす陸上クラス」として月 2 回、定期活動を開催しています。子どもから大人まで、合わせて 20 人弱の会員がいます。現在では、小学生も 5～6 人が参加するようになりました。



障がいのある方も、スポーツをしたいという気持ちはあるはずですが、しかし、悲しいかな環境がまだまだ整っていない現状があります。未だに車いすの使用を制限しているスポーツ施設や会場もあるようです。

特に、障がいのある子ども達は、1 人ではなかなか会場まで来ることができません。本人は参加したくても、送り迎えをする親の都合がつかずに参加できない状況があります。そのような場合に、「クラブで送迎のシステムがあれば、もっと積極的に参加できるのにとすることも」と松永さんは話されていました。

また、このような教室をクラブが実施する意義としては、定期的な活動ができる場を提供することで、障がいのある人に運動習慣を身につけてもらうことです。さらに、障がいの有無にかかわらず、ひとりのスポーツ愛好者としていろいろな方々とコミュニケーションをとることで視野が広がります。それがスポーツをしていく上での自信につながり、競技を長く続ける第一歩になるであろうと考えられているそうです。現にそうしたクラブ員が、岡山大学の陸上部の選手と会話を交わしながらジョギングを行う姿も、しばしば見かけられます。

車いす陸上競技では、主に3輪の競技用車いす（レーサー）を使って練習を行います。桃太郎夢クラブでは用具の貸出し対応をしていますが、道具をそろえることも選手にとってはなかなか大変だそうです。国際大会で経験を積んだ松永さんは、「初心者の方やレーサーに乗ったことのない方にも、“風を切って走る楽しさ！”をぜひ体感して欲しい」と話されていました。

そして、クラブ会員で競技志向の方とともに走り、実践指導を行い、さらに有望選手の育成にも力を注がれています。

記憶に新しいロンドンパラリンピックには、桃太郎夢クラブから、松永さんと木山由加さんが出場されました。クラブの理事が発起人となり国際大会出場に向けて寄付金を募りました。多くの方々から支援いただき、寄付金がお二人に手渡され、クラブの誇りにもつながったようです。



（野上幸恵 岡山県クラブ育成アドバイザー）

【NPO 法人桃太郎夢クラブ プロフィール】

1. 設 立 年月日：平成 18 年 2 月 14 日

経緯：岡山大学の医科学サポートチームと南部健康づくりセンターが天満屋陸上部に行っていたサポートを障がい者を含む一般ランナーの方々にもしていきたいという思いと、いろいろな方々に支えられて天満屋陸上部の選手が連続でオリンピックに出場出来たことへの恩返しをしていきたいという監督の思いから監督・選手が指導者として設立したクラブ

2. 地 域 岡山市の人口は平成 24 年 3 月現在で約 70 万人だが、陸上競技で高い専門性のあるクラブであるため、岡山県全体を対象にしている。

3. 運 営 会員数：221 人（平成 25 年 1 月 30 日現在）

予算規模：916 万円（平成 24 年度）

4. 特 徴 天満屋女子陸上部を含むトップアスリートが直接指導に協力し、生涯スポーツ・健康スポーツの普及に加え、ジュニアの育成も目指したクラブ

5. 連絡先 事務局 〒700-0083 岡山県岡山市北区津島新野 1-1-30-202

TEL. 090-5266-7192（携帯電話） FAX. 086-255-3330（留守番電話）

E-mail: info@momoyume-runners.com

URL: <http://www.momoyume-runners.com>

関連リンク：野上幸恵氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/tabid/492/Default.aspx>